

外国語活動学習指導案

指導者 榎原 朱梨

- 1 日 時 令和6年11月16日(土) 第2校時(10:00~10:45)
- 2 学年・組 小学校複式中学年 計16名(3年生男子4名女子4名, 4年生男子4名女子4名)
- 3 場 所 小学校複式中学年教室
- 4 単 元 名 This is Our School.
(Let's Try!2 Unit 2 Let's play cards. Unit 8 This is my favorite place.
Unit 5 Do you have a pen?)

5 単元について

本単元では、本校とアメリカにある Exploris Elementary School との学校間交流への足掛かりとして学校紹介動画を作り、お互いの学校についての理解を深めることをねらいの一つとしている。世界には国ごとにさまざまな文化が存在している。小学校という一面に絞っても、日本の小学校ではランドセルを使用するという文化があるように、国ごとに共通点や違いが見られる。本単元においては外国語活動だけでなく、道徳科、総合的な学習の時間の学習と関連させ、さまざまな国の小学生の暮らしについて調べたり、調べたことを踏まえて共通点や相違点を考えたりする活動を行うことで、外国の文化への理解を深めると同時に、改めて日本の文化についてもより理解を深めることに繋がると考えた。外国語活動では、学校内の教室名や道案内の表現、文房具などの持ち物、haveを用いた表現などについて慣れ親しむことをねらいとしている。また単元終末には、総合的な学習の時間での外国の小学校に関する気づきなどを踏まえて、Exploris Elementary School の児童に向け、東雲小学校や小学生の持ち物などについての紹介動画を作成する活動に設定している。1単元に留まらず、複数単元を組み合わせた単元構成とすることで、単元末の動画作成時にこれまでに学習した表現や語彙を活用しながら取り組むことが可能となり、繰り返し表現や語彙を使用する中で定着を図ったり、自分の思いに応じて表現したりすることに繋がると考える。

本学級は、複式学級であり、異学年がともに生活をしている。国語科や算数科などは学年別で授業を行っており、両学年とも日直が中心となって学習ガイドをもとにしながら自分たちで学習を進めている。一方、外国語活動では、2年分の学習内容を圧縮し、2年に渡って繰り返し学習する「くりかえし案」での授業を行っている。そのため、上学年である4年生児童は、昨年度本単元で扱う主な表現や単語については学習を済ませている。3年生児童は本年度に入って、数や好きなものなどに関する学習を行ってきた。外国語活動の授業では、学習経験の差を生かし、4年生がペアの3年生に教えたり、3年生も分からないことがあれば積極的に尋ねたりする姿が見られる。また、3年生はその単元で学習する表現に留まらず、4年生が授業中に使用する表現をまねし、4年生のやりとりの姿から学びを深める姿もある。また、本学級では、児童会行事である「しののめまつり」において世界の遊びに関する催しを行った。世界各国の伝統的な遊びや有名な遊びについて調べる際に、共通点や相違点に目を向けたり、それらを楽しんだりする姿が見られた。

指導に当たっては、学校紹介の動画作成に向けて、外国語活動だけでなく、道徳科や総合的な学習の時間との教科横断的な学習展開とすることで、児童が調べたことをもとにどのような内容を伝えたらよいかという自分なりの考えや思いをもって学校紹介ビデオを作ることができるようにする。また、アメリカからも学校紹介ビデオを送ってもらうことで、Exploris Elementary School について知るとともに、日本とアメリカの小学校や小学生の生活の違いについてより理解を深めることができるようにする。

単元前半において友だちとのやりとりを中心とした言語活動を通して十分に表現に慣れ親しむこと

ができるようにすることで、単元末の動画作成時に学習した表現を活用し自分の伝えたいことに応じて子ども自身が表現することに繋げたい。また、動画作成の際には自分が撮影した動画などを適宜見直すことで、教室や自分の持ち物についてただ紹介するだけではなく、伝える相手であるアメリカの小学生のことを考慮して、学習した表現以外にも今までに学習した表現を用いて質問をしたり、自分のことを伝えたりするなどの内容の工夫や、動画を見た相手により伝わりやすくするためにジェスチャーを加えたり、実物を示したりするなどの表現方法の工夫についても考えられるようにしたい。

さらに、本学級が複式学級であることを踏まえ、単元を通して4年生がこれまでの学習を生かし、発話や会話のモデルとなって活躍できるよう、デモンストレーションの仕方やペアの組み方を工夫するようにする。

6 単元の目標

- (1) 教室名や文房具の言い方、持っているものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- (2) 伝える相手を意識しながら、学校内の施設や自分の持ち物について伝える。
- (3) 伝える相手を意識しながら、学校内の施設や自分の持ち物について伝えようとする。

7 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと [発表]	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

8 指導計画（全10時間）

次	時	学習内容	評価		
			知技	思判表	態度
1	1	世界の遊びについて知り、好きな遊びを尋ねたり答えたりする。			
	2	好きなものについて尋ね合い、共通点を伝え合う。			
2	1	学校内の施設の言い方に慣れ親しむ。			
	2	道案内の言い方に慣れ親しむ。			
	3	お気に入りの場所まで道案内をする。			
3	1	文房具などの持ち物の言い方、持っているものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。			
	2	総合的な学習の時間に話し合ったことを踏まえて、学校内の施設や自分の持ち物について伝える内容を考える。			
	3	伝える相手のことを意識しながら、学校内の施設や自分の持ち物について伝える内容や伝え方を考える。(本時8/10)	発	発	発
	4	前時の学習を踏まえて、学校内の施設や自分の持ち物について伝える動画を撮影する。	発	発	発
4	1	Exploris Elementary Schoolの学校紹介ビデオを見て、気づきを交流する。	聞	聞	聞

8 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

基準	具体的な児童・生徒の姿
Ⅲ	学校紹介ビデオを作るために、学校内の身の回りのものについて伝えるとともに、伝える相手のことを考えて伝え方を工夫したり既習事項を活用したりしながら表現している。
Ⅱ	学校紹介ビデオを作るために、学校内の身の回りのものについて伝えている。(評価規準)
Ⅰ	学校紹介ビデオを作るために、学校内の身の回りのものについて単語で伝えている。
手立て【関連する教師の資質能力】	
○児童が学習する表現を用いて伝えたいを思うような場面設定や授業展開【授業構想力】	
○児童が既習表現などを活用することができるような場面設定および意識できるような声かけ【授業構想力・授業実践力】	

9 本時の目標

学校内の施設や自分の持ち物について、伝える相手のことを意識しながらどのような内容や伝え方がよりよいか考える。

10 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. Greeting and songs	○ 歌などを通し、英語を使う雰囲気切り替えることができるようにする。
2. Small Talk	○ 友達とのやりとりを通し、本単元で扱う単語や表現を復習することができるようにする。
3. Presentation of Today's Goal	
動画撮影に向けて発表の練習をしよう。	
4. Communication and Reflection ○ 動画を見返し、良いところや改善できる部分について話し合う。 ・ 声を大きくした方がいいかな。 ・ 実際に見せると伝わりやすいね。 ○ 話し合いを踏まえ、どのような工夫を加えることができるかを考え、練習する。 ・ 理科が好きか呼びかけてみよう。 ○ 練習したことをもとに、動画を撮影する。	○ 前時までに撮影した紹介動画をもとに、伝え方や内容の工夫がされているか、あるいはどのような工夫を加えられるかを考え、全体で共有することで、さらなる改善に繋がれるようにする。 ○ 一方的に伝えるだけでなく、自分の情報を付け加えるなど既習事項を活用し、工夫することができるよう声をかける。 ○ 途中でどのような工夫をしたかを交流することで、他のペアが参考にできるようにする。 ◆ 教室名や文房具の言い方、持っているものを伝え合う表現に慣れ親しむ。【知識・技能】 ◆ 伝える相手を意識しながら、学校内の施設や自分の持ち物について伝える。【思考・判断・表現】 ◆ 伝える相手を意識しながら、学校内の施設や自分の持ち物について伝えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
5. Reflection of Today's Lesson	○ 本時でできたことや次時に向け工夫したいことなどを振り返ることで、本時の学びを次に繋がれるようにする。